

令和5年度 木材利用促進月間 の取組について

京都市 産業観光局
農林振興室 林業振興課

KYOTO WOOD EXHIBITION 2023

～木と森と暮らしをつなぐプロジェクト～

○開催趣旨

10月の木材利用促進月間に、森林、林業、木材利用などに関わる多様な事業者と連携し、子どもから大人までが森林や木材に触れ、親しめる場を提供することで、広く市民に森林や木材利用に関する理解を深めていただくことを目的に開催

- ① 木工ワークショップ・マルシェ
- ② 京都の木に親しむバスツアー
- ③ 「京都のステキな木の空間」パネル展示
- ④ 「木と暮らすデザインKYOTO」展示

木工ワークショップ・マルシェ 1

○ 開催概要

子どもから大人までが森林や木材に触れ、親しめる場として、木工ワークショップや木製品の販売、展示をすることで、市民の方に森林や木材利用に関する理解を深めていただいた。

- 日 時 令和5年10月28日(土)、10月29日(日)
- 会 場 京都市庁舎前広場、本庁舎和室
- 主 催 京都市ウッド・チェンジアクション推進会議、京都市
- 共 催 未来につなぐ京の木府民会議、京都府
- 協 力 山と木の文化の研究会、山と街をつなぐ「北山杉の里マルシェ」
- 出展者 36社・団体



砂磨き体験



木を使ったアクティビティ体験
(モルック)



木のテントの設置

木エワークショップ・マルシェ 2

○ 実績

(1) 市庁舎前広場（延べ参加者数：2,284名（和室の見学者含む））

- ・ スプーンやお皿、ミニカーづくり、組子、アロマ、木のテントの組立など地域の木に触れるワークショップ
- ・ 森林の循環利用や木の利用に関するパネル展示
- ・ 木を使ったアクティビティの体験（モルック、ボルダリング）
- ・ 木製品、農産物、小物などの販売

(2) 京都市役所本庁舎和室の公開（見学者数：400名）

- ・ 本庁舎4階にある京都ならではのおもてなしの場として本庁舎内に整備した「お茶を点てられる和室」の見学及び解説を実施



木製品の展示・ワークショップ



砂磨き体験



和室の公開

木エワークショップ・マルシェ 3



木工体験（ウッドプランター）



木製品や薪の販売



木のテント設営



木製家具の展示販売



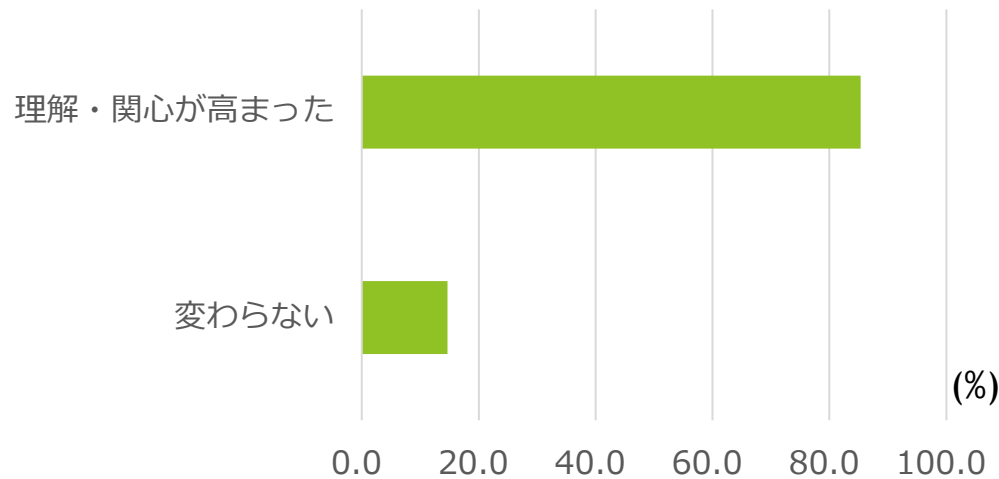
薪割り体験



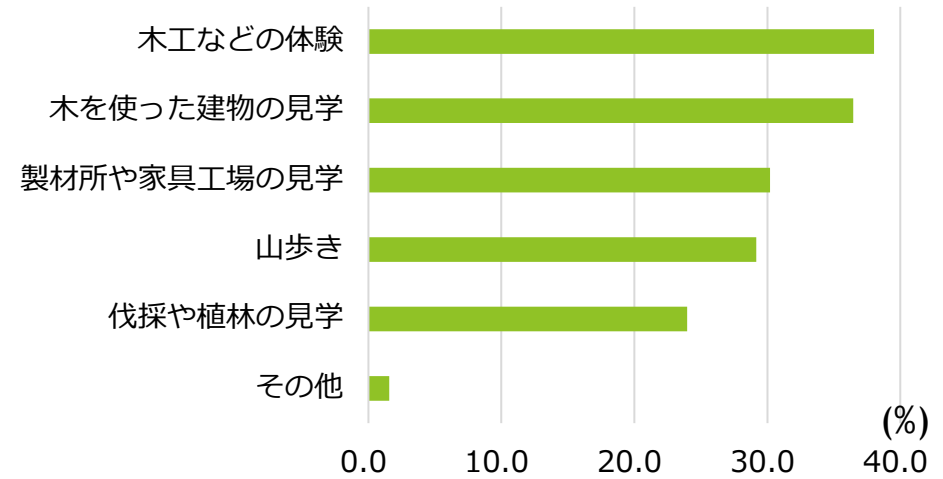
木造CLTパネル工法の展示

来場者アンケート結果 1 (n=192(無回答は除く。))

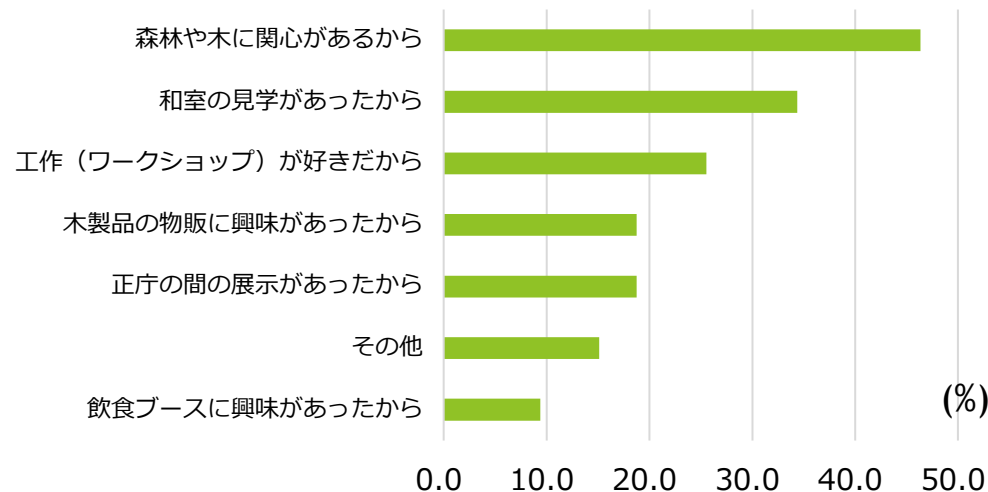
イベントに参加して、森林や木材利用への関心が高まったか。



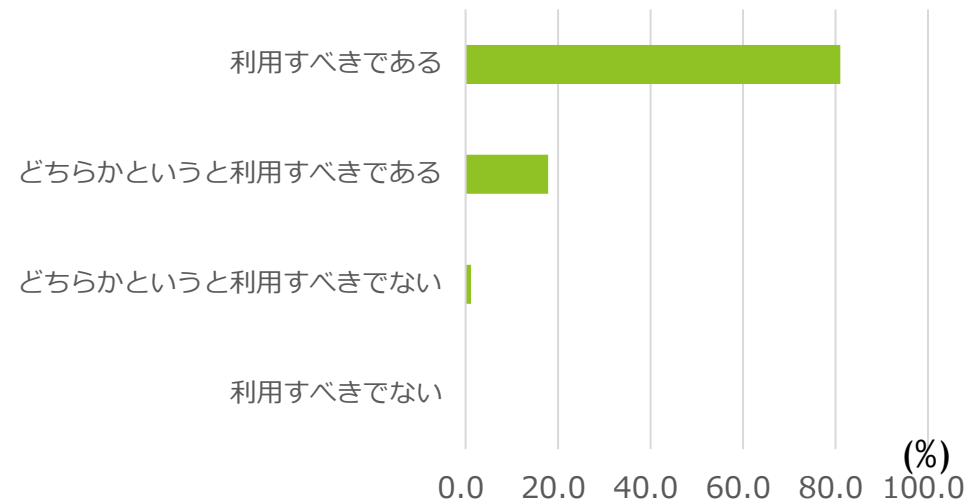
今後こういったイベント等に参加したいか。



今回のイベントに来場した理由は。

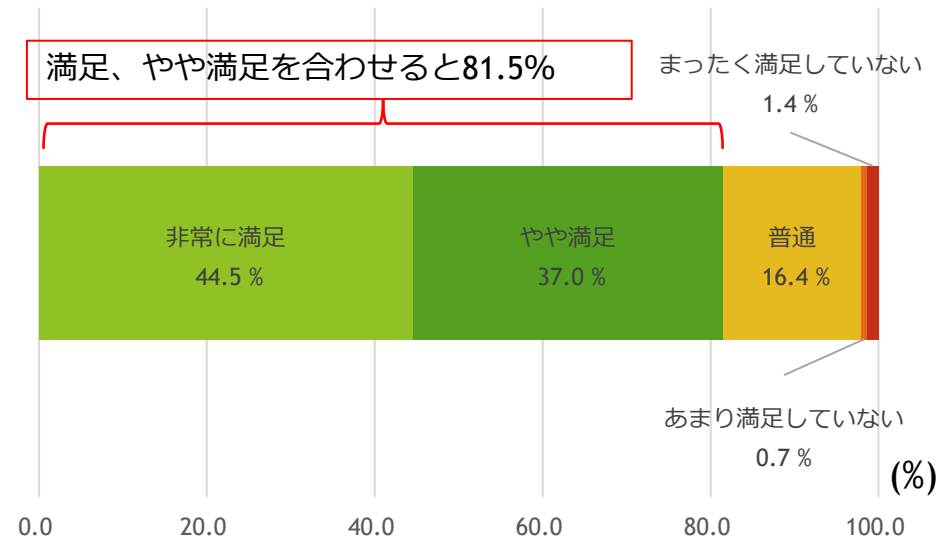


様々な建物や製品に木材を利用することについてどう思うか。



来場者アンケート結果 2 (n=192)

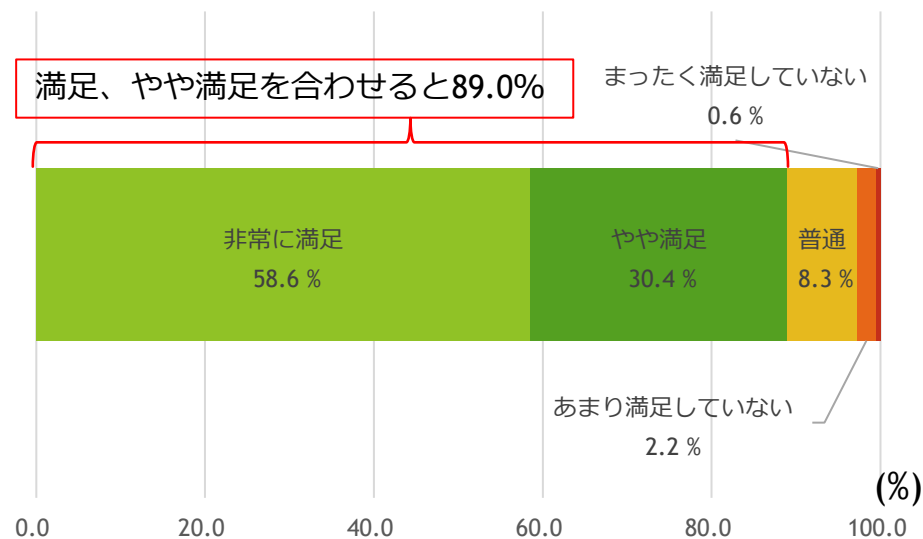
木エワークショップ・マルシェの満足度は。



○主な感想

- 森林、木材について知りたくなった。
- 土砂崩れなど自然災害を防ぐためにも、林業は大切だと思う。日本のすばらしい技術は、守るべき財産と思う。
- 京都のよさ、京都地産、素晴らしさをもっとPRしてもらえると京都市民として嬉しい。
- 京都に50年住んでいますが知らない事が多く驚きました。
- 木の存在自身に癒しを感じます。
- 林業や木材業のイメージが良くなった。

本庁舎 和室の見学の満足度は。



出展者アンケート結果(n=36)

○来場された方の反応

- 木の玉の樹種や炭素固定の説明をすると、木はいいねという反応でした。
- 木材利用についてはおそらく無関心層に位置する方々に、たくさん来場いただいたように感じている。
- 国産材を意識して使ってくれる子が多くいた。
- 木製ブロックの木の香りに感動されていました。
- 木材に興味がある方が多かったです。
- 樹種についての質問などがあつた
- 目の前に建ててあつた木のテントが好評でした。
- 当方は北山杉の里にて林業に長く携わっていたが、北山杉を知らない方が多いことにショックを受けた。
- 京北という場所を知ってもらえた。

○参加した感想

- ゆったりとした空間で、御子様連れの方が多く、PRしたい層とマッチしていてよかったです。
- 北山杉を使用されることにより得られる補助金についての知識を深め、エンドユーザーにどのような利点があるかをもっと上手に説明できるようになりたいと感じました。
- 「木に関係ないけど出ても大丈夫なのだろうか」と思っていたが、「木に関係ない」存在はいないな、と考えを改めた。ブース出展者様の声を聞き、食・遊び・住まい・仕事など 生活のあらゆる側面に木材が関わっている、ということを理解したからである。
- コンセプトが良いだけに集客などがもったいないと感じました。梅小路公園など集客の強いところで次回をお願いします。
- 定期的に開催して頂けたら嬉しいです。
- 子どもたちが思った以上に真剣に工作していたので、出展してよかった。

京都の木に親しむバスツアー

○ 開催概要

山とまちのつながりへの理解を深めるとともに、京都の木の文化の象徴の1つである「北山丸太」を知るツアーを実施

○ 日 時 令和5年10月9日（月・祝）

○ 参加者 37名（申込者117名）

○ 主 催 京都市

○ プログラム

(1) 木の利用に関するセミナー

- ・ 会場：太秦トキワ荘（右京区常盤）
- ・ 内容：建築物の木材利用を通じて、

山とまちのつながりを知るセミナー

(2) 北山丸太の歴史や生産工程についてのセミナー

- ・ 会場：京都北山杉の里総合センター（北区中川）
- ・ 内容：北山丸太に関する講義

北山杉の植林地及び北山丸太倉庫の見学

砂磨き体験、お箸づくり体験



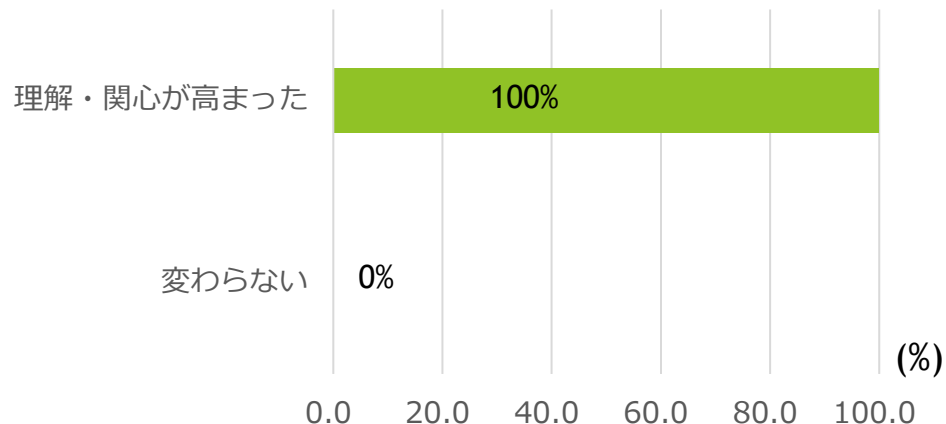
太秦トキワ荘でのセミナーの様子



京都北山杉の里総合センターでのセミナーの様子

ツアー参加者アンケート結果 (n=34)

ツアーに参加して、森林や木材利用への関心が高まったか。



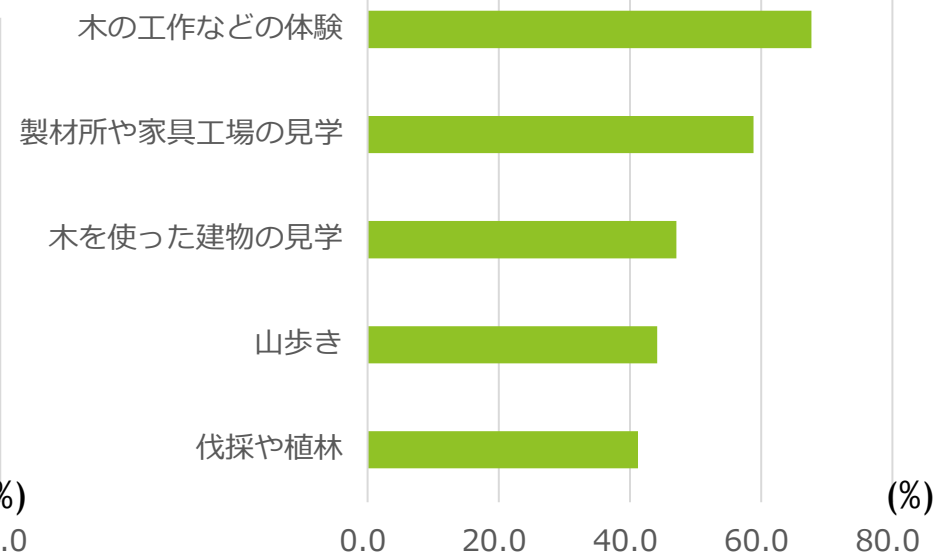
○主な感想

- 子供が小さかった頃に木で出来た遊具にふれた時なんともいえない暖かみを感じたことを思い出しました。こういうものに触れさせて子どもを育てたいと思いました。
- 木を切るのは悪いと教えられてきた昭和の人間ですが、適正に管理することで守られるメリットについてよくわかりました。
- 森林(木)に対する興味、理解、広報 etc がもっと拡大すると思います。

森林の役割で大切だと思うものはどれですか。



今後こういったイベント等に参加したいか。



「京都のステキな木の空間」パネル展示

○ 開催概要

木造建築物等に関するパネル展示により、広く市民に木造・木質化された建物の良さを発信

○ 会場及び日時

会場 京エコロジーセンター /日時 令和5年10月2日(月)～31日(火)

会場 エディオン京都四条河原町 /日時 令和5年10月16日(月)～22日(日)

会場 ゼスト御池 寺町広場 /日時 令和5年10月23日(月)～29日(日)

○ 主催 京都市



京エコロジーセンター



ゼスト御池



エディオン京都四条河原町

「木と暮らすデザインKYOTO」展示

○ 展示内容

- ・「山から木が使われるまで」をテーマとした、木と暮らすデザインKYOTO※のパートナー事業者（中島光行氏）撮影の写真展、木製品等の展示や北山丸太に関する展示等

※木と暮らすデザインKYOTO：

京都市の森林の保全や資源の利活用に関わる事業者等がパートナーとして参画し、パートナー間のマッチング（木製品の開発等）や、市民や消費者に向けて情報発信を行うためのプラットフォーム



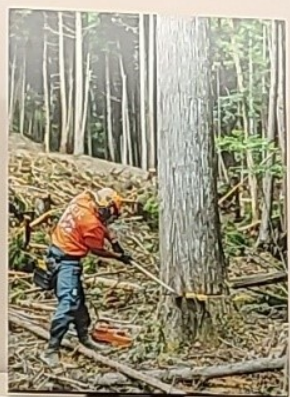
○ 展示期間・会場

令和5年10月10日(月)～27日(金)／本庁舎 地下通路展示スペース

10月28日(土)～29日(日)／本庁舎 4階 正庁の間

○ 来場者 400名（和室の見学とあわせて実施）

○ 主催 京都市



本庁舎 地下通路展示の様子（写真展）



本庁舎 正庁の間展示の様子

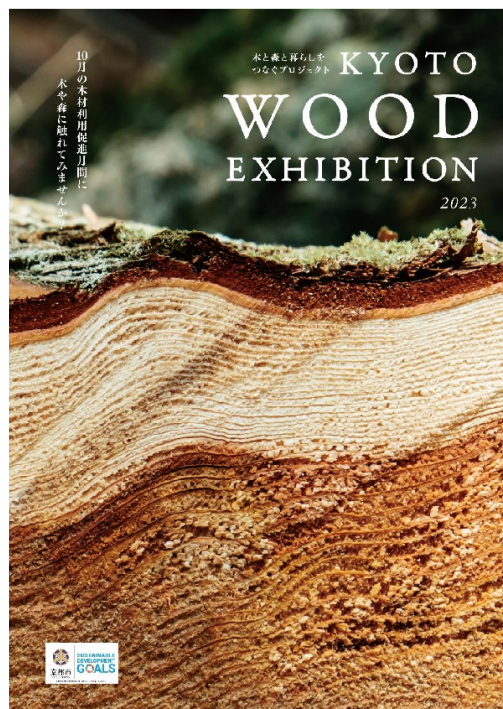


(参考) 情報発信

○ 市民しんぶん10月号での情報発信：第7面に特集記事を掲載

○ リーフレットによる情報発信

- (1) 配布部数 10,000部
- (2) 配布先 区役所・支所、公共施設、ウッドチェンジアクション推進会議、コンビニエンスストア、出展事業者



令和5年度リーフレット表紙

第978号 2023(令和5)年10月1日 | 7

見て、触れて、木について考えよう

キョウトウッドエキシビション
KYOTO WOOD EXHIBITION

10月は木材利用促進月間。木のこともっと知っていただくため、森林や木材利用に関わる企業などと連携した催しを実施します。

問合せ 林業振興課 TEL222-3346 FAX221-1253

木エワークショップ・マルシェ

木や自然等に関わりのある約30の企業・団体などが、木工体験や木製品の販売などを行います。会場でアンケートに回答いただいた方には、毎日先着400人に木製グッズを進呈。

とき 10月28・29日10～16時(29日は15時まで)
会場 市役所前広場他
入場 無料 申込み 不要

木工体験教室 木製品の販売 木の音を楽しむ 雑貨の販売 市役所本庁舎 和室の公開

京都の木に親しむツアー

市内産木材への理解を深めるバスツアー。木の文化や北山丸太の歴史・生産方法について学ぶことができます。

とき 10月9日10時(7時間)。市役所前広場集合
料金 無料
申込み TELで、またはHPから、10月5日までに。多数抽選

もっと知ろう、木材と森林

Q 木を使うと環境に良いのはなぜ？

A スギやヒノキを植林した森林は、成長した木を伐採して使い、植林を繰り返すことで、常に若く健康な状態に保つことができます。

若く健康な森林には、地球温暖化や土砂崩れなどの山地災害を防止するなど、多様な機能があります。

伐採 → 育てる → 植える

Q 身の回りに木を使うことで、私たちの生活に何かいいことはあるの？

A 木は、私たちにぬくもりや香りによる癒やしをもたらします。また、防虫や湿度調整など機能面の他、集中力を高め、作業や勉強の効率を上げる効果も科学的に認められています。

令和5年市民しんぶん10月号